

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜）

音 楽 理 論

中等教育教員養成課程
中等教育プログラム 音楽専攻

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔1〕 次の楽譜を見て、以下の問に答えなさい。

System 1: A piano score in 4/4 time with a key signature of two flats. The treble clef staff contains a melodic line with a slur over the first four measures and a fermata over the fifth. The bass clef staff contains a bass line with a slur over the first two measures and a fermata over the last two. A vertical box labeled (ア) encloses the notes in the fifth measure of both staves. A bracket labeled (a) connects the notes in the fifth measure of both staves. A circled number 1 is placed below the bass staff.

System 2: Continuation of the piano score. The treble clef staff has a slur over the first three measures and a fermata over the fourth. The bass clef staff has a slur over the first two measures and a fermata over the last two. A vertical box labeled (イ) encloses the notes in the second measure of both staves. A bracket labeled (b) connects the notes in the fourth measure of both staves. A circled number 2 is placed below the bass staff.

System 3: Continuation of the piano score. The treble clef staff has a slur over the first four measures and a fermata over the fifth. The bass clef staff has a slur over the first two measures and a fermata over the last two. A vertical box labeled (ウ) encloses the notes in the fifth measure of both staves. A bracket labeled (c) connects the notes in the third measure of both staves. A bracket labeled (d) connects the notes in the fifth measure of both staves. A circled number 3 is placed below the bass staff.

System 4: Continuation of the piano score. The treble clef staff has a slur over the first three measures and a fermata over the fourth. The bass clef staff has a slur over the first two measures and a fermata over the last two. A vertical box labeled (エ) encloses the notes in the fourth measure of both staves. A bracket labeled (e) connects the notes in the fourth measure of both staves. A circled number 4 is placed below the bass staff.

(問 1) 楽譜中の①～④で示した2音間の音程をそれぞれ答えなさい。ただし、複音程は単音程に直して解答すること。

(問 2) 楽譜中の(a)～(d)で示した2音間の転回音程を、それぞれ答えなさい。ただし、複音程は単音程に直して解答すること。

(問 3) 楽譜中の で囲んだ拍の和音(ア)～(ウ)が、それぞれ以下の度数で所属する調の音階の上行形を、その右側に指示する譜表上に、調号を用いて全音符で書きなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

(ア) VII₇ ソプラノ譜表

(イ) III 低音部譜表

(ウ) IV₇ テノール譜表

[2] 次の(1)～(4)に指定した種類の和音の基本形ができるように、それぞれの解答欄の該当箇所に全音符で音を書き足しなさい。ただしこのとき、解答欄の黒い音符が、各問に指定した和音構成音になるようにすること。また、黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

(1) 短三和音 第3音

(2) 増三和音 第3音

(3) 減三和音 根音

(4) 属七の和音 第7音

〔3〕 次の楽譜について、以下の問に答えなさい。



Andante con comodamente

The musical score is written on two staves in treble clef, 2/4 time, and the key of D major (two sharps). The tempo is marked 'Andante con comodamente'. The first staff contains measures 1 through 5, with dynamics markings *mp*, *f*, *mp*, and *mf*. The second staff contains measures 6 through 10, with dynamics markings *mp*, *mf*, *mp*, *p*, *f*, and *sfz*. The piece concludes with a double bar line.

(問 1) 次の各問の答えを解答欄に書きなさい。

- ①この曲の最高音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ②この曲の最低音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ③この曲の最高音と最低音でできる音程を答えなさい。ただし、複音程は単音程に直して解答すること。
- ④この楽譜をそのまま E_♭ 管のアルトサクソフォーンで演奏すると、5小節目の最初の音は、実音で何の音が出ることになるか。その音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ⑤↓が指し示す単語の読みを書きなさい。



(問 2) この曲全体を、長3度低く、高音部譜表に調号を用いて移調しなさい。ただし、記号「↓」は書き写さなくてよい。

[4] 次に掲げる旋律は、何分の何拍子で、何調であると判断できるか。それぞれの拍子と調を解答欄に書きなさい。



〔5〕 次の問に答えなさい。

(問 1) 次の各文の (①) ~ (④) の中に、最も適切な語または数字を解答欄に書きなさい。

(1) 楽譜で用いられる音符の名称は、その音符が示す長さを表している。例えば  は (①) 分音符というが、これは (②) 音符の長さを1としたとき、その (①) 分の (③) の長さが  であることを表している。

(2) 五線譜上に書かれた音符が、どの音高を表示しているのかを明確化するために、五線譜上に設定される記号を (④) という。

(問 2) 次に示す選択肢から、不協和音程とされている音程を選び、その記号をすべて解答欄に書きなさい。

〈選択肢〉

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| a. 長2度 | b. 短6度 | c. 完全5度 | d. 短7度 |
| e. 長3度 | f. 減5度 | g. 完全4度 | h. 完全8度 |
| i. 短3度 | j. 短2度 | | |

〔6〕 次の各文の説明にもっともよく当てはまる人物名を解答欄に書きなさい。

- (1) 20 世紀のアメリカを代表する音楽家である。最もよく知られているのは指揮者としての活動であり、ニューヨーク・フィルハーモニックの常任指揮者を長くつとめたほか、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など、世界中の名オーケストラと共演した。作曲家としては、特にミュージカル《ウェストサイド物語》が有名である。
- (2) 1782 年イタリア生まれのヴァイオリニストで作曲家。幼少期からヴァイオリン演奏と作曲の才能を発揮し、卓越した演奏能力によりヴァイオリンの新たな奏法も開拓して、高度な演奏技巧の作品演奏によりヴィルトゥオーゾの地位を確立した。その名人芸的で強い印象を放つ作風は、同時代のロマン派の作曲家に多大な影響を与えた。代表作に5つのヴァイオリン協奏曲や《24 の奇想曲》がある。
- (3) 1865 年に生まれ、1957 年に亡くなったフィンランドの作曲家。ロマン派様式を基礎に、独自の作風を確立した。7つの交響曲や《トゥオネラの白鳥》などの自国の伝説に基づく管弦楽作品、《フィンランディア》と題された愛国的な作品が名高い。
- (4) 現代に活躍した日本の指揮者であり作曲家。東京音楽学校で作曲を学び、1956 年にNHK交響楽団の演奏会で指揮者デビューした。ウィーン留学を経て 1960 年のN響世界一周演奏旅行ではアンコール曲として日本の民謡のメロディやリズムを取り入れた管弦楽曲《管弦楽のためのラブソディ》を発表し、世界各地で大好評を得た。指揮者として日本各地のオーケストラを指揮し、作曲活動も続けたが、2023 年に亡くなった。

〔7〕 次の問に答えなさい。

(問 1) 以下の(1)～(3)の日本の音楽史上の人物と、その人物が最も関係した音楽種目を、ア～オの選択肢の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 八橋検校
- (2) 聖武天皇
- (3) 近松門左衛門

〈選択肢〉

ア 雅楽 イ 能楽 ウ 長唄
エ 浄瑠璃 オ 箏曲

(問 2) いわゆる「古典歌舞伎作品」とされる歌舞伎の作品に用いられる三味線音楽を、以下の選択肢の中から4種選び、記号で答えなさい。

〈選択肢〉

ア 地歌 イ 長唄 ウ 義太夫節 エ 新内節
オ 常磐津節 カ 清元節 キ 一中節

〔 8 〕 次の楽語の意味を解答欄に書きなさい。

- (1) Andantino
- (2) Presto
- (3) tempo di valse
- (4) D.S.
- (5) *sfz*
- (6) Grave
- (7) cantabile
- (8) con moto
- (9) giocoso
- (10) agitato